

議員報酬削減の議員提案で議案提出を断念

平成 30 年度決算において、経常収支比率 100%と日野市の財政が緊迫（財政難）していることから、**伊東ひであき（秀章）が令和元年 第四回定例会(12 月議会)に議員報酬削減を議員提案で議案提出予定でしたが、議会内での集約が出来なかったことから今回は断念した。しかし私は市長に対し、副市長を通して議員が財政難に危機感を強く持っている事を重く受取る様に申入れを行った。**

今後は、令和二年第一回定例会(3 月議会)もしくは特別委員会などで審議していきたいと思います。

日野市は経常収支比率 100%で、経常的に支出される経費(人件費や扶助費・公債費など)に経常的な収入(市税や地方交付税など)がどの程度費やされているかを示した評価で、継続事業や新規事業に費やす予算が全くない事示しています。基金(貯金)の取り崩しや市債(借金)の借入を行わなければ、様々な行政サービスが出来なくなります。令和 2 年度予算では財政調整基金が底をつき、このままでは三年後には全ての基金が底をつきます。その後は借金をして財政破綻になりかねません。非常に財政が厳しい状況です。

この財政が厳しい状況下で議員に、**平均的な報酬を支払うのはおかしい話です。財政が厳しければ議員報酬も下げるべきです。**従って市長報酬及び議員報酬削減を訴えて参ります。議員は身を切る改革をして、徹底的に無駄を省き、しっかり襟をただし改革に努め財源を生み出す必要性があります。私は、身を切る改革／議員報酬をカットして被災地に党(東京維新の会)を通して寄付しております。身を切る改革・議員報酬削減は、継続して実施しております。

日本維新の会は、身を切る改革を訴えております。従って議員だけ特別待遇の、従来の議員年金の復活には反対しております。しかし今度は、全国市議会議長会から地方議員の厚生年金への加入を促進するため、新たな制度改革を求める各議会で意見書の採択や地元選出国會議員への要望などをする様に求める依頼が各地方議員に配布されました。ご承知の通り厚生年金は、本人半分・会社半分の負担となります。地方議員の場合は、会社ではなく皆様の税金を充てる事になります。従って日本維新の会は、税金を使う地方議員の厚生年金への加入を反対しております。地方議員は、国民年金のみの加入となっております。なぜ地方議員が国民年金だけでは駄目なのか。国民年金に問題があるのであれば抜本的に改革しなければなりません。現在の国民年金は、賦課方式で、国民年金未受給者が受給者を支えている構図です。年々支える側の人口が減少し、多くの皆様が将来の国民年金に不安を抱いております。

日本維新の会は、国民年金の抜本改革を求め、国民年金を積立方式に早急に改革する様に求めています。

私は、昨年(平成 30 年 6 月第二回定例会)に議員年金の復活には反対の意見書を日野市議会に提出しましたが、反対者がいたため上程されませんでした。

東京都河川改修大会  
日野市総合防災訓練  
東京維新の会・あたらしい党

音喜多 駿 参議院議員控室  
東京維新の会 仲間たち

東京都動物愛護センター  
視察

日野市消防団  
秋の火災予防運動出発式

